

## 自然と繋がり寄り添う、ウェルビーイングな保育所

## ■平地林の保育所 ①③

私たちの生活環境に豊かな潤いを与えてきた**平地林**。その下で駆け回る子どもたち、そんな原風景から生まれる土着的で親しみある保育所を目指します。**施設全体を平地林とみたと、その潤いや楽しさを感じることができる空間づくり**とします。

## ■平地林の木組

平地林の枝葉をモチーフに小屋組みを組みます。高窓を計画することで**木組の間から木漏れ日が落ちる、温かみある空間**とします。

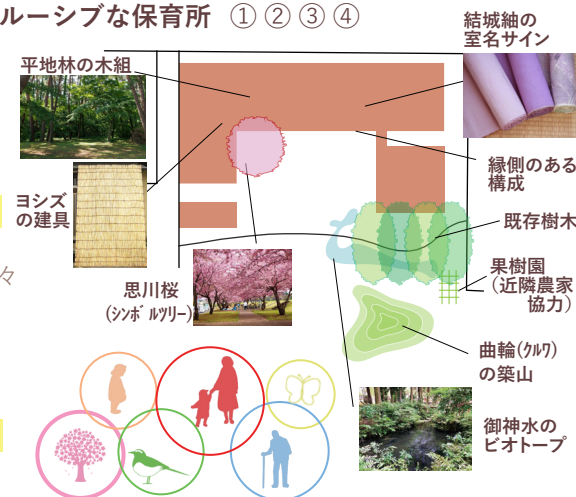
## ■平地林の間仕切り

保育室の間仕切りは可能な限り固定化せず、平地林の中でその時々遊び場をつくり出す様に建具、可動家具で**多様な使い方**を可能とします。



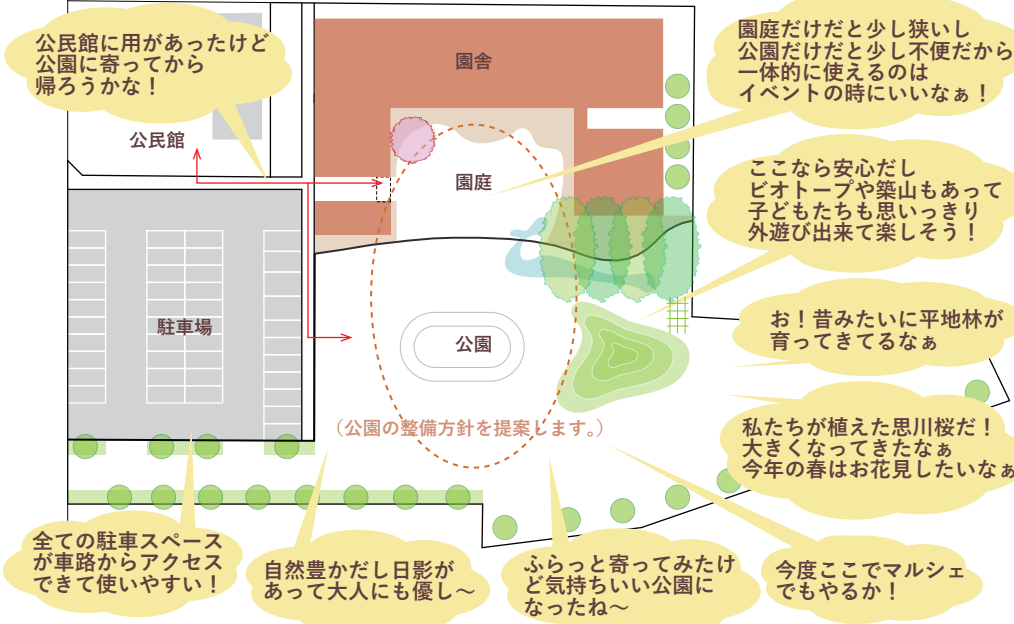
## ■ネイチャーポジティブ/インクルーシブな保育所 ①②③④

桑地区の自慢で豊かな自然は生活の場、働く場として、地域住民に寄り添ってきました。この豊かな資源を再解釈し活かすことで保育所に関わる全てのヒト・モノ・コトに寄添う**ネイチャーポジティブな保育所**を目指します。さらにすべての人（障がい児、医療ケア児、様々な問題を抱えた人、乳幼児からお年寄りまで）はもちろん、すべての生物、すべての植物を含めた多様性を認め、支え合いながら共に生きることのできる**インクルーシブな保育所環境**を目指します。

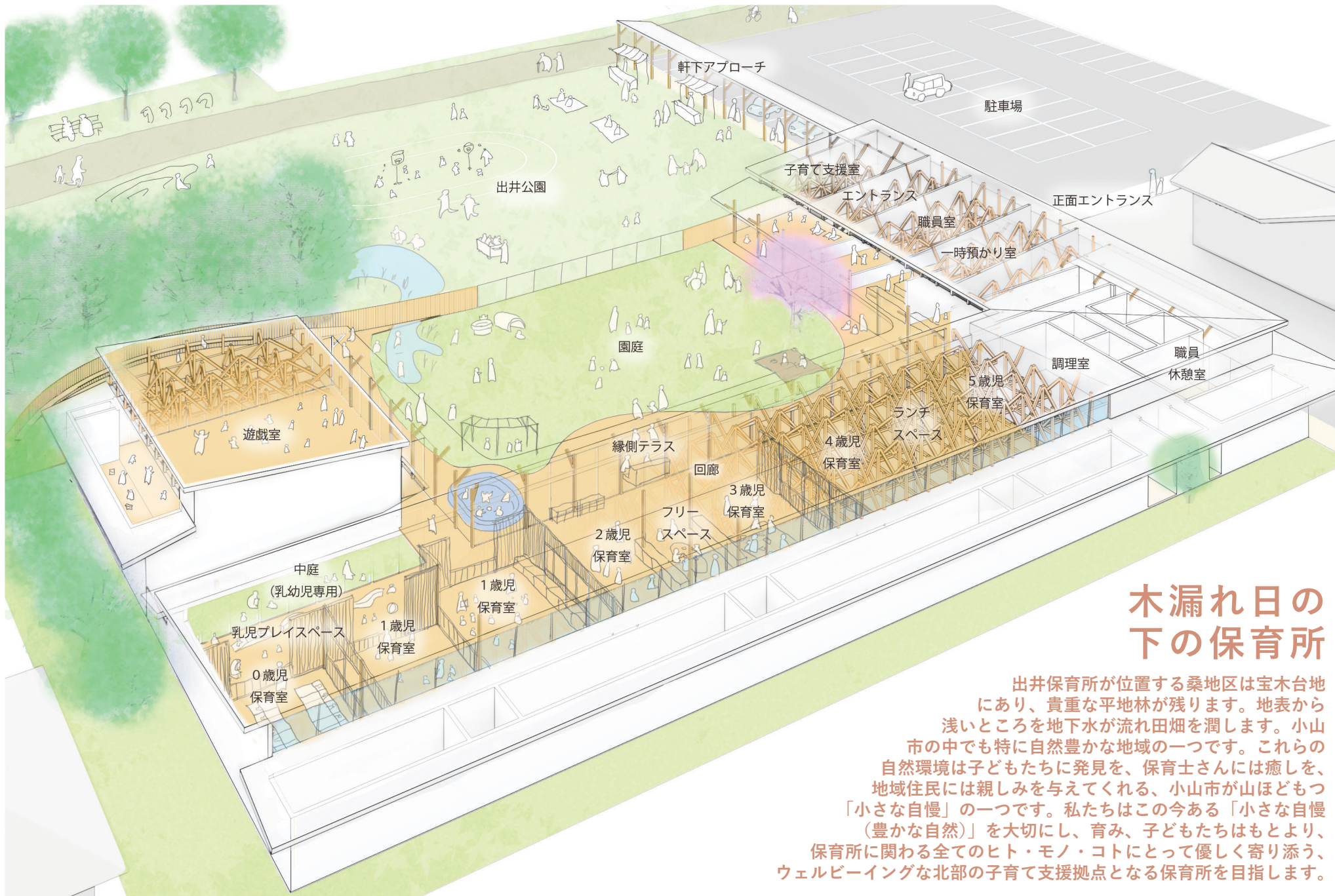


## ■北部の子育て支援拠点となる ②

私たちは**保育所、公園、公民館を一体施設と考え**、相互補助的な使い方を可能とすることで**地域の人が集う、地域ぐるみで子育てする魅力ある支援拠点**を目指します。



## 〈アプローチ、正面エントランスをみる〉…木組の屋根がお出迎え



## 木漏れ日の下の保育所

出井保育所が位置する桑地区は宝木台地にあり、貴重な平地林が残ります。地表から浅いところを地下水が流れ田畑を潤します。小山市の中でも特に自然豊かな地域の一つです。これらの自然環境は子どもたちに発見を、保育士さんには癒しを、地域住民には親しみを与えてくれる、小山市が山ほどもつ「小さな自慢」の一つです。私たちはこの今ある「小さな自慢（豊かな自然）」を大切に、育み、子どもたちはもとより、保育所に関わる全てのヒト・モノ・コトにとって優しく寄り添う、ウェルビーイングな北部の子育て支援拠点となる保育所を目指します。

①子どもが生活する場としてふさわしく、安心で快適な空間 ②地域に開かれた子育て支援施設 ③保育士等職員が働きやすい環境整備 ④地球環境への配慮 ⑤実施手順及び工程計画（設計プロセス）

## ■みんなで育む『オールおやま』の保育所 ①②④⑤

今ある良さ、小山の小さな自慢たちを最大限に生かした**地域に親しまれる保育所ゾーン**を計画します。また、『オールおやま』で創り育て、様々な人が計画・建設・活用に関わることは**愛着**に繋がり、ここで育ったおやまっ子たちが「**子育てするなら小山」「小山に住み続けたい**」と思えるきっかけの保育所を目指します。

## ■みんなで「つくる」

小山には資材・知識・技術に優れた自慢の業者さんが多く存在します。計画段階から連携し、**人もモノも技術も『オールおやま』の保育所**をつくります。また、木材業協同組合の協力のもと積極的な県産材活用、ワークショップによる様々な意見を取り入れる**参加型デザイン**とします。

## ■みんなで「つかう」

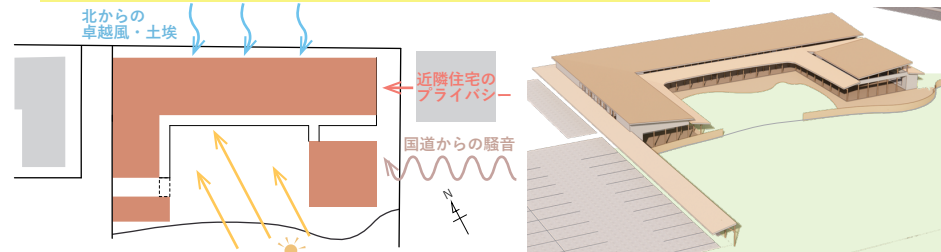
**子育て拠点**として**地域に開かれた保育所**とし公園や公民館まで含めた**人々の交流の場**をつくります。公園利用者にも使いやすい駐車場、バリアフリーな施設、公園とつながる園庭など**気軽に訪れることができ、心地良く過ごせる環境**とします。

## ■みんなで「そだてる」

建設に携わった人々、卒園者、保護者、近隣住民が**何度も訪れたい施設**とします。また、**記念植樹**を計画し、子供たちは大きな木になることを思い描き、育てることを学びます。**既存樹木はできるだけ残し、引き続き園児たちを見守ってもらいます。**

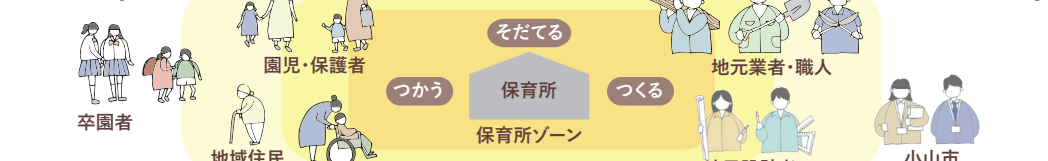
## ■安心・快適な建物配置 ①③

子どもたちが安心して過ごせるよう**視認性の高いコの字型**とし園庭を囲うように配置します。入口をしばらく防犯性を高めるとともに**北からの卓越風や土埃、国道からの騒音を防ぎ、隣家のプライバシーを守ります**。また、南に大きく開くことで**日光がたっぷりと降り注ぐ、公園と繋がる明るい保育所**とします。



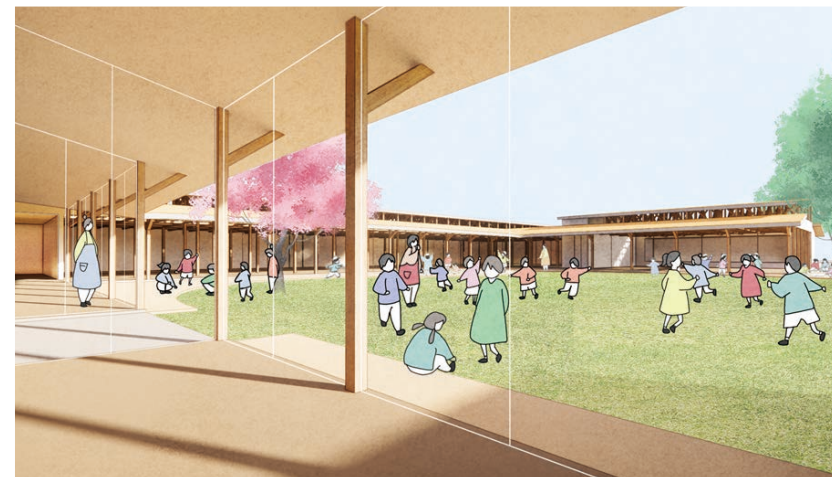
## 木漏れ日の下のおおらかな断面計画 ①

ハイサイドライトを計画し、木組トラス下の高さを抑えることで**木漏れ日に満ちたおおらかな空間**とします。また、周辺環境に配慮し高さを抑えることで**自然の中になじむボリューム**とします。





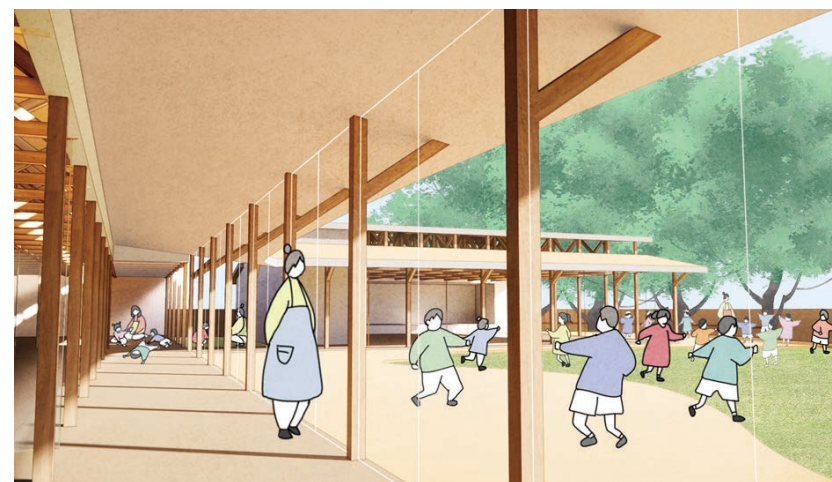
## おやまっ子たちが安心して過ごせる空間 ①②③④



〈アプローチ側から園庭をみる〉… 視認性の高いコの字の平面構成



〈保育室をみる〉… 木漏れ日の落ちる豊かな空間



〈保育室前の回廊から遊戲室側をみる〉… 伸びやかな軒下空間

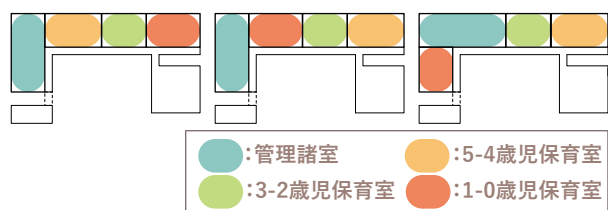


〈遊戲室をみる〉… 既存樹木も重要な建物の要素と捉える

## みんなで考えられる柔軟な保育所

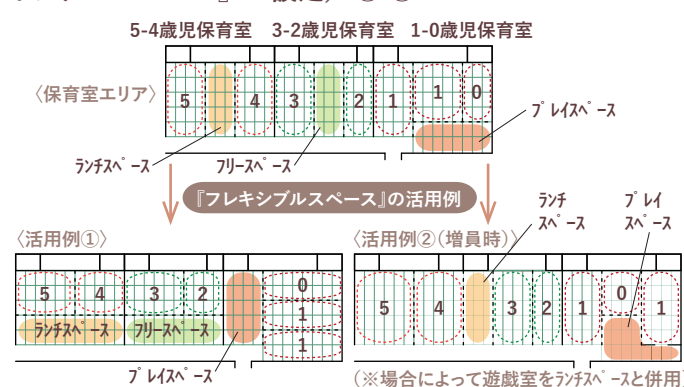
### ■設計の柔軟性 ①③⑤

回廊+諸室の平面構成とするとともに建物の奥行きをそろえることで**諸室の配置を容易に設計変更することができます。**ワークショップで得た意見を反映できる**柔軟性**をもたせます。



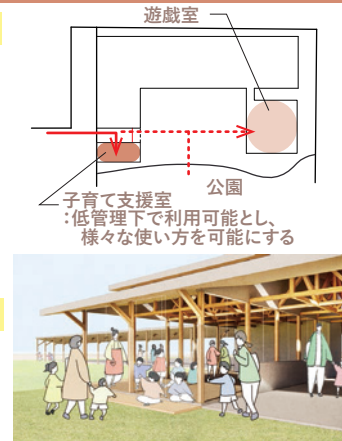
### ■使い方の柔軟性(『フレキシブルスペース』の設定) ①③

細かく仕切られるようにすることで**多様なレイアウト**を可能とします。また、ランチスペース、フリースペース(DEN、絵本コーナー)、プレイスペースを定員の増減や保育方針を反映しやすい**柔軟な使い方を可能にする『フレキシブルスペース』**として設けます。



## 地域に開かれた保育所 ②

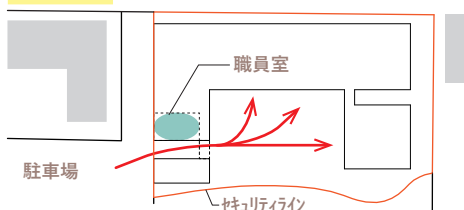
北部の子育て支援拠点として保育所に通っていない子育て世代にも利用しやすいよう、子育て支援室、遊戲室をアプローチしやすい位置に配置します。子育て支援室は**低管理下で利用可能な計画**とします。



## みんなが使いやすいみんなのための保育所

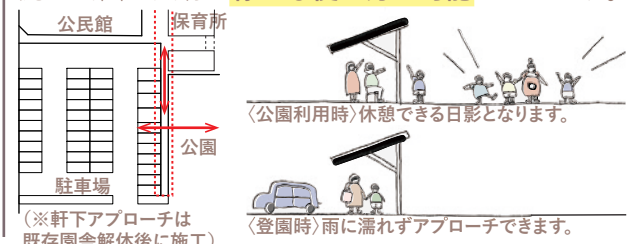
### ■安心安全な登園アプローチ ①③

登園時は職員室の前を通り、各保育室にアプローチする計画とすることで**防犯性**に配慮しながら、**利便性、避難のしやすさ**に配慮します。(下足は一足)



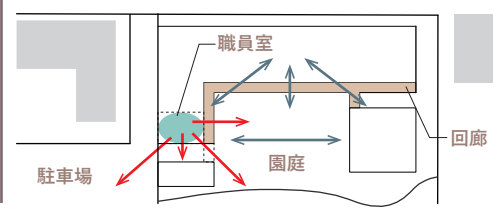
### ■軒下アプローチ ①②

駐車場から保育所入口まで庇を連続させ、**雨天時も濡れずにアプローチ**できる計画とします。連続する庇は公園と共有し**様々な使い方が可能**となります。



### ■視認性の高い計画 ①③

園庭に開き視認性を高め、職員室を敷地全体を見渡せる位置とします。子どもにとっては安心な、保育士にとっては働きやすい環境を整備します。



### ■優しい納まり、仕様選定 ①②③

様々な事情を抱えた子ども、保育士さんたちがのびのびと過ごせる場所として、**誰にとっても優しい保育所**を目指します。



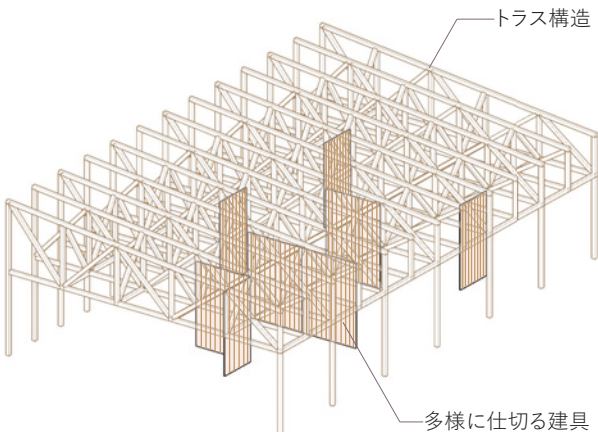


## 合理的な構造計画、工法 ①④⑤

「平地林の木組」県産材を使い、間取りの可変性を見据えた構造計画とします。保育室や遊戯室などを木造としては比較的大きな空間づくりが可能なトラス構造とし、その木造トラスが樹木を見上げた時のような木漏れ日のある環境をつくりだします。

## ■可変性の高い保育エリア

トラス構造で保育室エリアを大きな一体空間とするとともに、トラスの下弦材に鴨居を計画することで、建具により空間を多様に仕切る事ができ、広さを柔軟に調整できます。また、保育室を仕切る壁は非構造壁とできます。

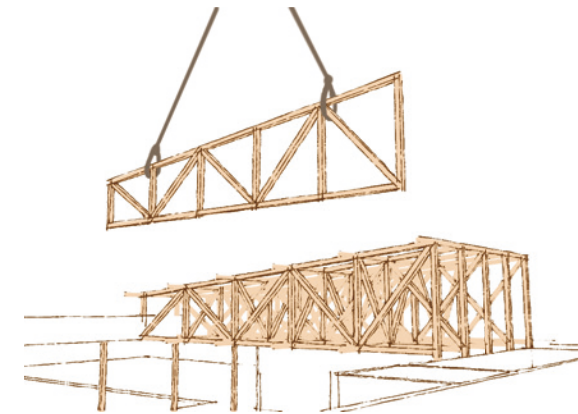
■県産材のスギ、ヒノキ等の活用  
(栃木県木材業協同組合連合会との協働)

小さな部材の集まりであるトラス構造なので県産材のスギを構造材として利用することができます。また壁や床など体が触れる部分も県産材で木質化し、木の温もりや匂いが感じられる園舎とします。



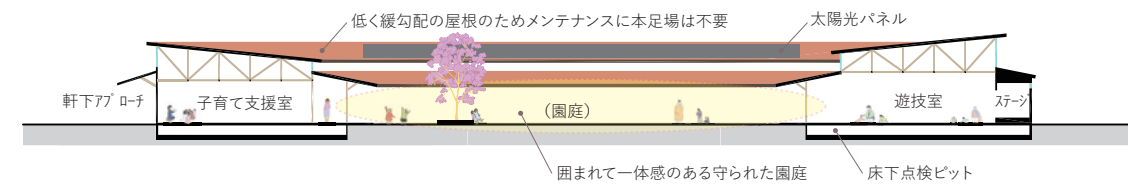
## ■施工性、経済性に配慮した工法

トラスを搬入や荷上げができるサイズにユニット化し、組立てとすることで安全性向上・品質向上・工期短縮を図ります。また、大部分を工場で製作できるため、現場では比較的簡易な施工となり、作業の効率性を高めます。



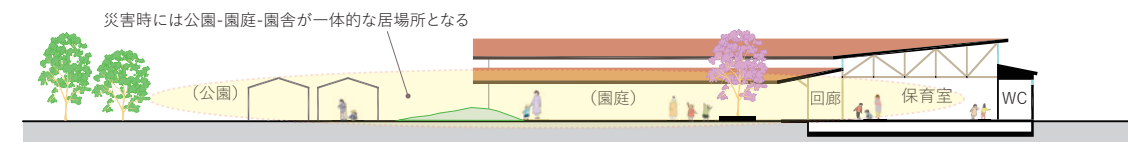
## メンテナンスしやすい オールおやまの保育所 ③④

- 床下には点検ピットを設け、メンテナンスや配管配線の修繕、将来の設備更新を容易にします。
- 特に汚れやすい腰壁部仕上げを拭き取りやすい材料とします。
- 雨の直接あたらない外壁や軒天井に耐久性のある地域材ヒノキなどを使用し、また可能な限り地域企業の製品を使用し、将来の機器交換や資材調達などメンテナンス性に配慮します。
- 付近に樹木が多いため屋根に雨樋を設けず、雨は砂利浸透層に流し、循環させます。



## 災害時には公園と共に 安心・安全な地域の居場所 となる ①②

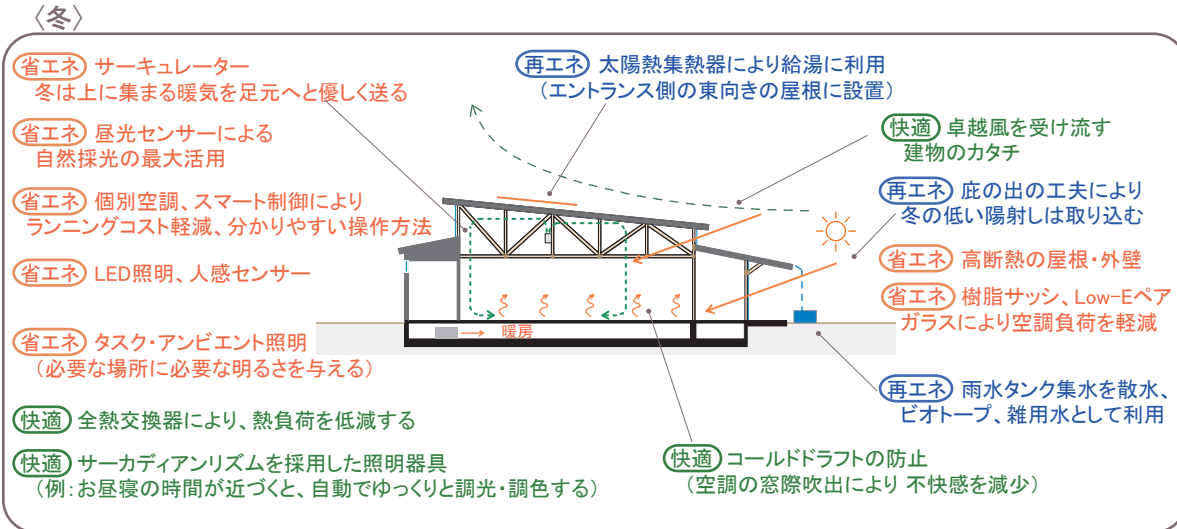
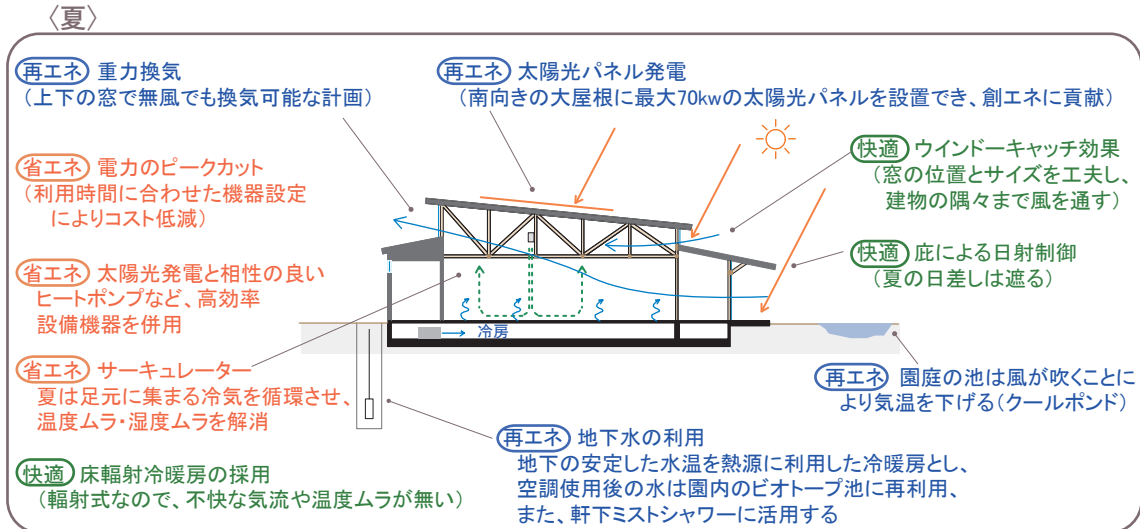
- BCP対策：主要室（職員室、保育室）の空調、一部コンセントが72時間、自立継続できる蓄えとします。（備蓄倉庫、太陽光発電による自立運転、地下水利用）
- 普段使いのできる防災設備：レジリエンストイレ、停電時でも使用できるLPガスによるハイブリッド機器など、日常使用ができてコストも抑えた災害時対策を施します。
- 地域のための災害時の居場所：幹線道路（新4号）に隣接し、延焼を免れる広い公園があることは、一体的な避難場所として人々にとって日頃から心強い存在となります。



## 敷地の自然エネルギー（光、風、熱、水）を最大限に利用し、イニシャルコスト・ランニングコストを削減する断面計画、設備計画 ①③④

## ■再生可能エネルギーの活用&amp;快適性と省エネ性に配慮した設備計画

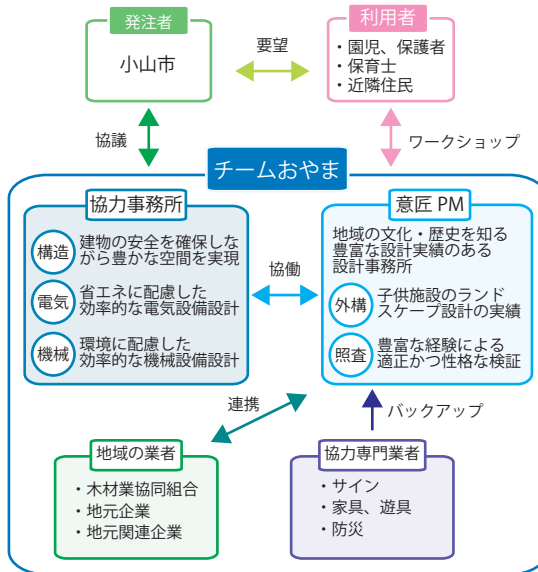
自然エネルギーの最大限活用 + 機器のスマート制御 = コストを抑えた ZEB Ready の達成を目指します。



## 実施体制、設計プロセス ①②③⑤

## チームおやま

- 地元小山の設計事務所を中心に、本計画を小山地域づくりの一環としてとらえます。
- 子育て支援の「これから」を一緒に考え、議論/発信します。
- 小山の社会的資源である関係者が共同する『チームおやま』を組織します。
- 保育所、地域住民、市、木材業協同組合など各々が主体を明確にして意見を言いやすい体制をつくります。



- 徹底したコストとスケジュールの管理、品質管理（DRデザインレビュー）を行います。
- 保育士に協力して頂き、子どもや保護者の意見を引き出ししていきます。
- 様々なワークショップを開催し、みんなでつくり・育て・つながる場とします。
- 【例】木育WS：園児や親子が木とふれあい、自然と生きる心を育みます。（卒園の記念植樹、工事中の木端材で積み木や巣箱を製作）
- 【例】見学WS：既存園舎や他の保育所を関係者で見学し、現園舎の課題や新園舎の目標設定、空間イメージを共有します。
- 【例】継承WS：地域住民と一緒に結城紬を使った室名札などをデザインします。
- 【例】公園WS：地域住民と公園や駐車場、公民館とのつながり等、将来のビジョンを検討します。

